

図書館企画展示の活動報告

仁愛女子短期大学附属図書館 竹下 真弓

図書館では「図書コミュニケーション」をキャッチフレーズに知的好奇心を提供する場として、月1回のペースで企画展示を行っています。閲覧は可能ですので、是非ご来館ください。また、本学卒業生と森田地区住民の方には貸し出しを行っています。詳細は附属図書館ホームページ(<http://www.jin-ai.ac.jp/lib/>)をご覧ください。

●2017年4月「この木なんのきねがいの木」

「大きな木を図書館に描いてその周りにメッセージが書けるようにしたい」という図書館サポーターの持ち込み企画から生まれました。学生の願いを恒間見ることができます。



●2017年7月「わが家のペット自慢」

学生・教職員のペットの可愛い写真、おもしろ写真など自慢のベストショットを紹介しました。



●2017年7月「人間と文学」作品展示

「人間と文学」の授業で学んだ山川登美子の短歌を、生活デザイン専攻の2回生がそれぞれの解釈で表現し、描いた作品28点を展示しました。



●2017年6月「衣生活論」作品展示

「衣生活論」の授業で制作されたファッション画の作品（生活デザイン専攻26名、生活情報専攻81名）を展示しました。

TPOにあわせたコーディネートや、ヘア&メイクが素敵で、図書館がとっても華やかな空間になりました。



●2017年9月「創作絵本展」

本学の生活デザイン専攻2回生が「デッサンII」の授業で創作した38作品を展示しました。絵もストーリーも世界に一つしかないオリジナル作品です。



●2017年10月「図書館サポーター選書本」

図書館サポーター23名が書店で選書した図書など170点をおすすめのコメントを添えて展示しました。毎年、バラエティ豊かな選書で、学生の人気を集めています。



●2017年11月「ふるさと風花文庫」

県立図書館「ふくい風花随筆文学賞」実行委員会様より、若い世代が読書や文芸創作への興味・関心が高まることを目的として「ふるさと風花文庫」全110冊を11月～3月まで貸し出していただきました。福井ゆかりの作家や、福井を描いた作品も多数あり、期間中123冊の貸し出しがありました。



●2017年12月「第5回青空文庫表紙コンテスト」

Webサイト「青空文庫」には著作権の切れた古い文学作品が掲載されています。その中から3作品（今年は、『山椒大夫』・『飴だま』・『ルンペルシュチルツェン』）を図書館が選び、作品の持つ魅力を一層際立たせる様な「表紙デザインコンテスト」を行いました。優秀賞受賞者には、副賞として図書カードと作品を表紙にした文庫本を贈呈しています。



※今年度優秀賞受賞作品

●2018年1月「小倉百人一首大会」

この大会は、百人一首を通じ親交を深めることを目的に開催しました。授業の空き時間や、お昼休みなどに62名の参加者が百人一首の魅力に触れていました。



今後も、図書館が様々な人との交流や出会いの場になるよう、楽しく魅力的な企画を開催していきたいと考えています。